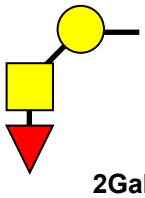
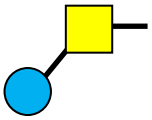
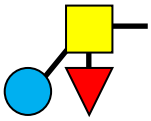
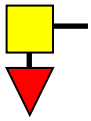
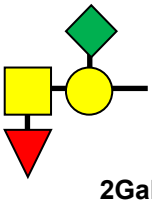
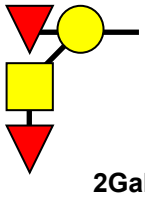
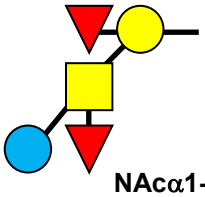
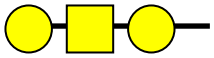
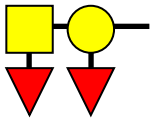
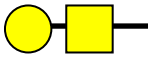
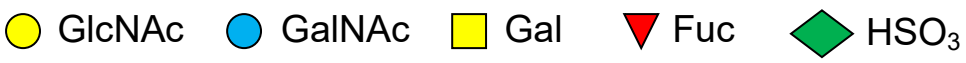
抗 糖 鎖 抗 体

Kanto Reagents

ほ乳動物消化管由来の精製ムチンを免疫原として作製した糖鎖に対するモノクロナール抗体です。

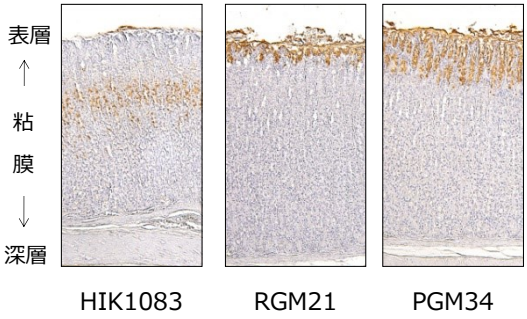
各抗体はそれぞれ下記のエピトープ構造を認識し、免疫組織化学染色やELISAに使用可能です。

HIK1083 (IgM) GlcNAcα1-	**RGM21 (IgM)**  Fucα1- 2Galβ1- 3GlcNAcβ1- 1-	**RGM22 (IgM)**  GalNAcα1-3Galβ1-
RGM26 (IgM)  GalNAcα1-3(Fucα1-2)Galβ1-	**RGM31 (IgM)**  Fucα1-2Galβ1-	**RGM42 (IgM)** GalNAcα1-
PGM34 (IgM)  Fucα1- 2Galβ1- 4(HSO_3-6) GlcNAcβ1-	**HGM44 (IgG_1)**  Fucα1- 2Galβ1- 3(Fucα1-4) GlcNAcβ1-	**HGM75 (IgG_1)**  Gal- NAcα1-3(Fucα 1-2)Galβ1-3(Fucα1-4) Glc- NAcβ1-
HGM504 (IgM)  GlcNAcα1-4Galβ1- 4GlcNAcβ1-	**HGM505 (IgG_1)**  Fucα1- 2Galβ1- 4(Fucα1-3) GlcNAcβ1-	**HGM507 (IgM)**  GlcNAcα1-4Galβ1-



RGM:ラット胃ムチン，PGM:ブタ胃ムチン，HGM:ヒト胃ムチン

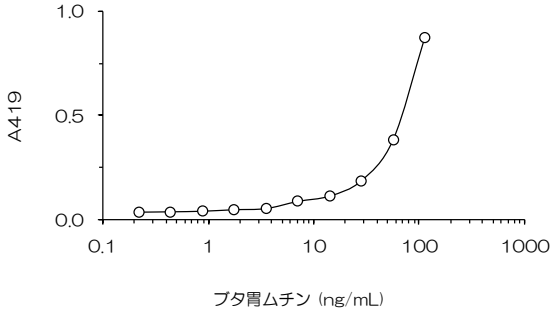
使用例：免疫組織化学染色 –ラット胃粘膜の免疫染色-



染色条件：
パラホルムアルデヒド固定したラット胃粘膜(胃体部)を3種類の抗体で染色した。検出は、HRP標識抗マウスイムノグロブリン抗体とDABで行った。

参考文献：
Ishihara K, et al. *Glycoconj. J.* **13**, 857-864, 1996
Ishihara K, et al. *Biochem. J.* **318** , 409-416, 1996
Tsubokawa D, et al. *FEBS J.* **274**, 1833-1848, 2007

使用例：ELISA -サンドイッチELISAによるムチンの定量-



測定条件：
HIK1083固定化プレートをスキムミルクでブロッキングした後、検体(ブタ胃ムチン)とビオチン標識HIK1083を順に反応させ、さらにHRP標識ストレプトアビジンとABTSで検出した。

参考文献：
Kubota S, et al. *Clin. Chim. Acta.* **377**, 261-267, 2007

製品名	製品コード	エピトープ構造	アイソタイプ
抗糖鎖抗体シリーズ01　HIK1083	02101-96	GlcNAcα1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ02　RGM21	–	Fucα1-2Galβ1-3GlcNAcβ1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ03　RGM22	–	GalNAcα1-3Galβ1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ04　RGM26	–	GalNAcα1-3(Fucα1-2)Galβ1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ05　RGM31	–	Fucα1-2Galβ1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ06　RGM42	–	GalNAcα1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ07　PGM34	–	Fucα1-2Galβ1-4(HSO$_3$-6)GlcNAcβ1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ08　HGM44	–	Fucα1-2Galβ1-3(Fucα1-4)GlcNAcβ1-	IgG$_1$
抗糖鎖抗体シリーズ09　HGM75	–	GalNAcα1-3(Fucα1-2)Galβ1-3(Fucα1-4)GlcNAcβ1-	IgG$_1$
抗糖鎖抗体シリーズ10　HGM504	–	GlcNAcα1-4Galβ1-4GlcNAcβ1-	IgM
抗糖鎖抗体シリーズ11　HGM505	–	Fucα1-2Galβ1-4(Fucα1-3)GlcNAcβ1-	IgG$_1$
抗糖鎖抗体シリーズ12　HGM507	–	GlcNAcα1-4Galβ1-	IgM

希望小売価格18,500円（容量：50μL）

● 本記載の製品は、試薬（試験、研究用として用いる化学薬品）としての用途にご利用ください。　● 本記載価格に、消費税等は含まれておりません。
● 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。 最新情報は、弊社ホームページ「Cica-web」をご確認ください。

関東化学株式会社
試薬事業本部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町２丁目２番１号
TEL : 03-6214-1090
HP : https://www.kanto.co.jp